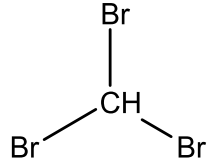


3	CAS 番号：75-25-2	物質名： ブロモホルム
化審法官報公示整理番号：2-40		
化管法政令番号：2-66		
分子式：CHBr ₃	構造式：	
分子量：252.73		
<h3>1. 物質に関する基本的事項</h3>		
<p>本物質の水溶解度は 3×10^3 mg/1,000g(25°C)で、分配係数 (1-オクタノール/水) (log Kow) は 2.38、蒸気圧は 5.6mmHg (=750Pa) (25°C)である。生物分解性 (好氣的分解) は GC 分解率で 0%であり、蓄積性がない又は低いと判断される化学物質である。</p>		
<p>本物質は化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 第二種指定化学物質に指定されている。本物質の主な用途は、地質分析や重液選鉱とされている。また、平成 27 年度における製造・輸入数量は 2 社以下のため公表されてなく、平成 28 年度における製造・輸入数量は届け出られていない。化管法における製造・輸入量区分は 1 t 以上 100 t 未満である。</p>		
<h3>2. 曝露評価</h3>		
<p>本物質は化管法第一種指定化学物質ではないため、排出量及び移動量は得られなかった。Mackay-Type Level III Fugacity Model により媒体別分配割合の予測を行った結果、大気、水域、土壤に等量排出された場合、水域と土壤に分配される割合が多かった。</p>		
<p>水質について安全側の評価値として予測環境中濃度 (PEC) を設定できるデータは得られなかった。なお、表流水、湖沼水又はダム湖水を原水とする水道原水の測定結果を PEC に用いると、淡水域では 5 µg/L となった。また、過去の限られた地域を調査対象とした調査結果では、公共用水域の海水域で最大 7 µg/L 程度の報告があった。</p>		
<h3>3. 生態リスクの初期評価</h3>		
<p>急性毒性値は、藻類では緑藻類 <i>Dunaliella salina</i> の生長阻害における 48 時間 EC₅₀ 240 µg/L、甲殻類ではクルマエビ科 <i>Farfantepenaeus aztecus</i> の 96 時間 LC₅₀ 26,000 µg/L、魚類ではキプリノドン属 <i>Cyprinodon variegatus</i> の 96 時間 LC₅₀ 7,100 µg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、急性毒性値に基づく予測無影響濃度 (PNEC) 2.4 µg/L が得られた。</p>		
<p>慢性毒性値は、魚類ではキプリノドン属 <i>C. variegatus</i> の死亡における胚～ふ化後 28 日間 NOEC 4,800 µg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、慢性毒性値に基づく PNEC 48 µg/L が得られた。</p>		
<p>本物質の PNEC は、藻類の急性毒性値から得られた 2.4 µg/L を採用した。</p>		
<p>本物質については、予測環境中濃度 (PEC) を設定できるデータが得られなかったため、生態リスクの判定はできなかった。なお、過去の限られた地域のデータではあるが、公共用水域の海水域では最大で 7 µg/L 程度が検出されており、この濃度と PNEC の比は 2.9 である。また、表流水、湖沼水又はダム湖水を原水とする水道原水の測定結果を PEC に用いると、淡水域では 5 µg/L となり、PNEC との比は 2.1 であった。また、PNEC 導出の根拠である藻類の有害性情報より、藻類ではさらに小さな毒性値が得られる可能性も考えられた。した</p>		

がって、本物質については情報収集に努める必要があり、排出源を踏まえた環境中濃度及び有害性に関する情報の充実について検討する必要があると考えられる。

有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (µg/L)	曝露評価		PEC/PNEC 比	総合的な判定
生物種	急性・慢性の別	エンドポイント			水域	予測環境中濃度 PEC (µg/L)		
藻類 緑藻類	急性	EC ₅₀ 生長阻害	100	2.4	淡水	—	—	(▲)
					海水	—	—	

4. 結論

	結論	判定
生態リスク	既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると更なる関連情報の収集に努める必要がある。	(▲)

[リスクの判定] ○：現時点では更なる作業の必要性は低い、▲：更なる関連情報の収集に努める必要がある、(▲)：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると更なる関連情報の収集に努める必要がある、■：詳細な評価を行う候補、(■)：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると詳細な評価を行う候補、×：現時点ではリスクの判定はできない。